



持久走大会

朝の時間や休み時間、体育の時間に走る活動を実施してきた成果を発表する校内持久走大会が行われました。前日の厳しい天候に実施が危ぶまれましたが、大会当日は青空も見え、多くの保護者や地域の方に見守られ、実施することができました。今年の伴走は、県下一周駅伝選手でもある山田勇基さん(ハレルヤ子ども園)、石峯三穂さん(消防署)2名に、朝岡陽平さん(教育委員会)、原田涼平さん(消防署)の2名が加わりました。子どもたちは、心強い伴走のおかげで、これまでの練習の成果を発揮することができました。4年生谷山優美花さんは、5分16秒の大会タイ記録でした。多くの応援ありがとうございました。山田さん、石峯さんは、18日から行われる第70回県下一周駅伝に出場します。応援しましょう。



【 持久走大会当日の風景も児童たち 】

【 力強い走りで児童を引っ張る伴走者 】



きび刈り→黒糖づくり



4年生



4年生はしちみゃんの学習で、与論島の特産品である『さとうきび』について調べたり、育てたりしてきました。1月31日(火)に保護者と一緒にサトウキビの出荷準備をしました。家で手伝っている児童は、二股に分かれた鎌の使い方も知っており、頼もしく活躍していました。3日(金)に与論民俗村でおいしい黒糖を親子で作ることができ、大満足でした。



新一年生との交流会

2月7日

4月に那間小学校に入学を予定している園児8名が、本校の1年生15名と交流しました。

1年生の先導で学校の中をゆっくりと見学し、休み時間には、一緒にボールで遊んだり、ビオトープでザリガニやメダカを見たりしました。学校紹介では、児童1人1人が原稿を見ないで学校の紹介を行いました。学校ワクワクスタンプラリーでは、園児たちが楽しく学校生活をそれぞれのブースで体験しました。最後には、児童による楽器の演奏があり、園児たちが聴き入っていました。4月の入学をとて満足して園に帰って行きました。



与論高校生来校中

2月1日~2月17日

那間小卒業生の与論高校の生徒が本校でAT(アシスタントティーチャー)として体験しています。担当の学級で児童の学習を支援したり、一緒に遊んだりしています。最初は人見知りをしていた児童でしたが、昼休みは、与論高校のお兄ちゃん、お姉ちゃんの周りに集まっている様子が見られます。この機会に高等学校についてもいろいろと聞いて、学んで欲しいと思います。



【保護者の皆様へのお願い】住所の変更や転勤等の異動がある場合は速やかに学校まで御連絡ください。